

トキ舞ういしかわアクション

～トキが羽ばたくいしかわをめざして～



石川県は、本州で最後にトキが生息していた土地であることから、いしかわ動物園においてトキの飼育にとりくむとともに、動物園で生まれたトキを自然に帰す国のとりくみに協力しています。

トキの保護やトキを育む環境づくりの大切さをみんなが知り、行動(アクション)につなげることで、「トキが舞ういしかわ」の実現をめざします。

トキってどんなトリ?



トキの食べ物

長いくちばしを泥の中に入れて、ドジョウやカエルなどを食べます。

クチバシはセンサー

クチバシは先端まで神経が行き渡り、センサーのようになっています。目で見なくても触れただけで、エサを探り当てることができます。

なきごえは「カーウッ」

鼻のつまったカラスの声のようだと言われています。

羽はうすいピンク色

体は全体的に白っぽく、羽はきれいな薄いピンク色で、トキ色とも呼ばれています。最速で時速60kmで飛行します。

- 分類：ペリカン目トキ科トキ属
- 学名：Nipponia nippon (ニッポニア ニッポン)
- 特別天然記念物、国際保護鳥



石川県とトキ

石川県とトキのつながりは深く、能登では昭和の初めころまで空を舞う姿がよく見られました。しかし、里山が荒れたことなどにより、その数は減り、1970年に穴水町で最後の1羽「能里」を保護し、新潟県の佐渡に移されたことで、本州からトキが姿を消しました。

石川県にトキが再び戻ってきたのは、40年後の2010年。鳥インフルエンザなどからトキを守るために、佐渡トキ保護センターで飼育していたトキのつがい2組を、いしかわ動物園に移送し、飼育が始まりました。



本州最後のトキ能里のはく製 (石川県立歴史博物館 収蔵)



なぜ、トキは減ってしまったの？

トキは江戸時代頃までは日本全国で見られるごくありふれた鳥でした。

ところが、明治時代以降、人がトキの「美しい羽」や「肉」を求めて乱獲したことにより、数は減り、昭和時代以降、農薬の使用によるトキのエサとなるドジョウなどの減少、天敵（テン等）の増加、森林伐採によるねぐらの減少など、生息環境が悪化したことで減少に拍車がかかり、日本産のトキは絶滅してしまいました。

また、トキは田植え後の苗を踏み荒らす害鳥だったと言われていいます。



テンに食べられてしまったトキ
（石川県立歴史博物館収蔵）



日本では約3700種がピンチ!!

今、日本では、約3700種もの生きものが絶滅の危機にあるとされています。その中には、メダカやニホンウナギなど、身近な生きものも含まれています。

原因のほとんどは、開発や乱獲などのわたしたち人間の暮らしにあるとされています。



トキが日本の空に戻るまで

1999年に中国から贈られたトキによる繁殖に初めて成功し、その後、飼育しているトキの数がふえたことで、国は、2003年からトキを自然に帰すとりにくみをスタートしました。

佐渡では、自然環境を再生するとりにくみが続けられ、2008年、トキが佐渡で放鳥されました。現在、400羽をこえるトキが野生で生息し、石川県にも、たびたび飛来しています。



佐渡での野生放鳥の様子
（環境省提供）



石川県でのトキの放鳥に向けた取組

国は、佐渡以外でもトキが生息できるようにするため、今年の5月10日に、トキの放鳥受入の候補地となる自治体の募集を開始しました。

石川県では、募集に先立ち、地域を挙げて放鳥を受け入れるため、協議会を設置し、能登の市町やJA、森林組合などと、今後、必要となる取組について話し合いました。

5月16日には、知事、能登の市長、町長が、能登地域を放鳥受入の候補地として、環境大臣に直接応募しました。

石川県では、トキが羽ばたくいしかわを目指して、関係者が一丸となって、トキと共生する里地づくりの取組を進めています。



放鳥受入の候補地の応募申請書を提出



いしかわ動物園でのトキ飼育

トキを鳥インフルエンザなどから守るため、佐渡以外にも全国4か所(東京都、石川県、出雲市、長岡市)でトキの飼育がおこなわれています。

いしかわ動物園でのトキを守るとりくみを見てみよう。

交尾・産卵(4月ごろ)



交尾から1週間～10日間ほどで産卵します

ふ化(5月ごろ)



オスとメスが交代で卵を温め、約28日でふ化します

巣立ち(6月ごろ)



ふ化から約40日で巣立ちします 10月ごろ、佐渡に移送します



環境省提供

佐渡では多くのトキが舞っています



トキを育む環境をめざして

トキは、田んぼや水路などでエサをとり、集落近くの森や林で巣をつくるなど、里山をすみかとする鳥で、たくさんの生きものが生息する豊かな里山がないと生きていくことができません。トキが人と一しょにくらしていくために必要な環境について、みんなで考えてみよう。

生きもの豊かな田んぼ

トキは田んぼや湿地などの水辺で、ドジョウやカエルなどの小さな生きものを食べます

トキを見守る環境づくり

野生のトキを見かけたらトキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう

健全な森林環境

トキは山間地の高い木(スギやマツなど)をねぐらにします



佐渡におけるトキを育む環境づくり

国内で唯一トキが生息する新潟県の佐渡では、トキがくらしやすい環境づくりが進められています。

地域住民やボランティアが中心となり、お米をつくっていない田んぼに1年を通して水を張り、ビオトープを整備することで、トキのエサとなる多様な生きものが生息できる環境をつくっています。

また、トキとの共生のため、佐渡市や地域住民により「共生ルール」がつけられています。

こうした取組の結果、地域全体でトキを見守ることにより、トキの行動や生態に大きな影響を与えることなく、人との適度な距離が保たれています。



ビオトープの整備(環境省提供)



トキとの共生ルールを呼びかける看板(環境省提供)

「トキがすむことができる環境」をめざして、身近な「アクション」にとりくもう! [次ページへ](#)



トキ舞ういしかわアクションにとりくもう!

トキがすむことができる環境をめざして、身近な“アクション”にとりくもう!

このシートを読んで、家族や友だちなどまわりの人にトキの知識をひろめる

トキの本を読んだり、インターネットを使用して、トキについてもっとしらべる

トキのえさ場である田んぼを守るため、石川県で作られたお米をたべる

いしかわ動物園や佐渡へ行き、本物のトキやトキがすむ環境を見て理解をふかめる

生きもの調査や自然観察会に参加して、トキをはぐくむ環境にふれる

トキが舞う石川の里山(イメージ)

トキクイズにチャレンジ!

トキのことがわかってきたかな? トキクイズに挑戦して、さらにトキに詳しくなろう! めざせトキ博士!

問題1

トキの学名(世界共通の名前)は?

- ① ニッポニア・ジャポニカ
- ② ニッポニア・ニッポン
- ③ ニッポニア・トキ



わからない問題があったらこのシートを復習しよう!

問題2

本州で最後に残ったトキが保護されたのは、石川県のどこ?

- ① 輪島市
- ② 羽咋市
- ③ 穴水町

問題3

トキの天敵は次のうちどれ?

- ① イノシシ
- ② テン
- ③ サギ



問題4

放鳥受入の候補地として、国に応募した地域は?

- ① 石川県内全域
- ② 加賀地域
- ③ 能登地域

問題5

放鳥されたトキを見かけたら?

- ① 遠くから静かに見守る
- ② エサをまく
- ③ 近づいて観察し、写真をとる



石川県生活環境部自然環境課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1 TEL:076-225-1476 FAX:076-225-1479
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

① : ㄱ ㄷ ㄹ ② : ㄷ ㄹ ㄱ ③ : ㄷ ㄹ ㄱ ④ : ㄷ ㄹ ㄱ ⑤ : ㄷ ㄹ ㄱ 【トキクイズ】